

第100回 全国書道コンクール出品要項

左記のとおり硬筆コンクール作品を募集します。奮ってご応募下さい。

一、中学生・小学生・幼年

●課題Ⅱ次ページ掲出課題

●用紙Ⅱ本会選定用紙

○幼・小一年……………四行用紙

○小二年以上……………五行用紙

●用具Ⅱ幼年から小三まではえんぴつ

小四以上は、つけペン、デスクペン、ボールペンのいずれかを使用。

一、出品料（一点につき）

会友 六三〇円

中学・幼年 五三〇円

一、出品締切り

令和三年七月二十四日（土）必着のこと

一、送り先

509-5134 土岐市泉島田町一-三〇

大書心会全国書道コンクール係

一、審査

期日 七月三十日（金）

午前九時半から

会場 セラトピア土岐

三F第一・二会議室

一、審査員

会長・認定審査員・及び八十点以上出品の団体責任者に委嘱。

一、褒賞

大賞・準大賞・会友特選（以上会友作品を

対象とする）・会長賞※土岐市長賞※同教

育長賞※同市議会議長賞※中日新聞社賞・

大書心会賞・理事長賞・師範会賞・理事奨

励賞・特選・奨励賞・俊英賞・優秀・秀作・

入選・佳作

（※印は申請中）

○全員に賞状、賞品を授与します。

○成績優秀な団体には、団体賞を授与します。

一、団体出品

5点以上まとめて出品の場合は団体扱いとなります。特典もあり、その他出品目録が必要となりますから大書心会事務局までお申込み下さい。

▽支局・支部には、予め出品目録を郵送いたしました。

一、成績発表

本誌十月号誌上。（各団体宛にも通知いたします）

※作品展及び授賞式はございません。

一、会長賞受賞者の特典

●六段以下の受賞者は一階級昇格を認めます。

●現在小五年生以上で、幼年から通算して三回受賞した場合は会友を認定します。

※いずれも八月から昇格します。

一、特別昇級の特典

硬筆部一級以下の出品者は、全員一階級特進を認めます。（申請者のみ）

一、その他

○一人何点でも出品できますが、特別賞受賞は一人一点とします。

○出品料は為替か小為替にして作品と同封し書留で送るか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

○作品は月例競書と同封してもよろしいが必ず混同しないよう、明確に区別して下さい。

〔注〕

※硬筆コンクール作品展及び授賞式は、コロナワクチン接種で会場使用のため今年も休止いたします。

※新型コロナウイルスの影響で全ての行事が中止となりました。この誌上コンクールには、どうぞ奮ってご応募下さい。

▼原寸大手本（コピー）

一枚……五〇円（送料実費）

▼選定用紙（四行・五行用紙とも）

一冊……八〇円（送料実費）

※ご注文の節は、「四行」または「五行」とはっきりご指定下さい。

第100回コンクール課題 (テーマ=海と空)

幼年 (えんぴつ)

う	ひ	や	た
み	ろ	ま	か
	い		い

小三年 (えんぴつ)

こ	ど	と	空	鳥
と	ん	べ	を	の
だ	な	た	自由	よう
ろ	に	なら	に	に
う	楽			
	しい			

小一年 (えんぴつ)

ふ	あ	お	大
う	か	さん	ぞ
せ	い	ぽ	ら
ん			

小四年 (ペン)

聞	波	耳	き	海
こ	の	に	れ	辺
え	音	あ	い	で
て	が	て	な	拾
き		る	貝	っ
ま		と	が	た
す			ら	

小二年 (えんぴつ)

あ	貝	海	兄	き
そ	を	へ	さん	の
ん	ひ	い	と	う
だ	ろ	っ		
	っ	た		

小五年 (ペン)

美	動	形	き	南
し	き	を	り	極
い	続	変	の	地
オ	ける	え	よう	方
ー		て	に	の
ロ		は	流	空
ラ			れ	に

小六年 (ペン)

船	ゆ	そ	水	七
を	め	こ	の	割
発	を	に	星	が
明	乗	住	と	海
し	せ	む	い	の
た	て	人	わ	地
		間	れ	球
		は	る	は

中一年 楷書 (ペン)

す	太	地	新	人
る	陽	球	し	間
に	系	で	い	は
違	を	は	世	や
い	活	な	界	が
な	躍	く	を	て
	の		つ	宇
	場		く	宙
	と		り	に

中二・三年 行書 (ペン)

す	太	地	新	人
る	陽	球	し	間
に	系	で	い	は
違	を	は	世	や
い	活	な	界	が
	躍	く	を	て
	の		つ	宇
	場		く	宙
	と		り	に

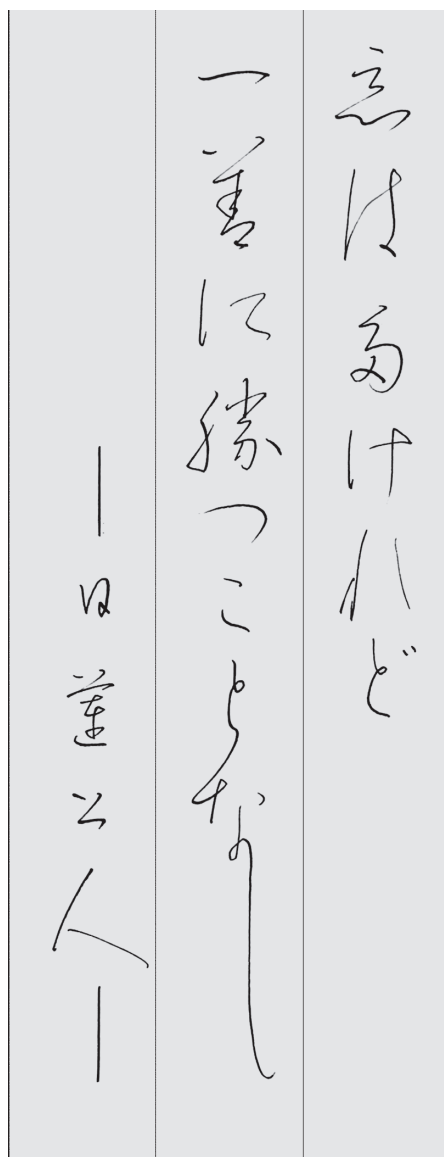
※「ペン」は、つけペン、デスクペン、ボールペンのいずれかを使用。

※幼年から小五までは上一段あけて書いて下さい。句読点は省略します。

憲照先生の手本ア・ラ・カルト(7)
(à la carte)

締切り 七月二十四日(必着)

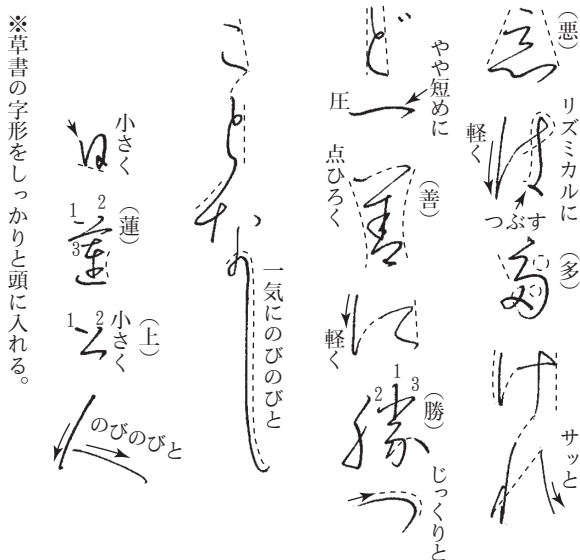
昭和61年5月



つけペン・墨汁使用

〔解説〕

〔読み〕悪は多けれど 一善に勝つことなし 一日蓮上人



※草書の字形をしつかりと頭に入れる。

- ◎ 本会は、今年で創立六十六周年を迎えます。昨年はコロナ禍で、世界中が混乱に陥り、本会としても過去にない大打撃を受けました。しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。
- ◎ この現状を踏まえ、今年の短期特別課題は、『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一種類を四ヶ月交替で掲載していく予定です。
- ◎ 多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。
- ◎ 創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

〔作品の出し方〕

- ▼ 今回は硬筆部だけに限ります。全員本会段位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。
- ▼ 硬筆ならば用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。
- ▼ 出品制限の対象とはなりません。
- ▼ 事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。
- ※ 不明な点は無記入でも結構です。
- ▼ 優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。
- ▼ 月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様をお願いします。

★ 悪は…(書体＝草書)

日蓮上人の書簡の一節

「善」が「悪」に勝つとは思わないけれども、今日まで人間の歴史は善の最後の勝利を裏証してきました。それ故にこそ、人類はここまで進歩向上して来たのである。

百悪千悪万悪も、ついには「一善」に勝つことはできないのだ。

この句は私共の内面生活をも物語っています。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔変換例〕

生
は
可
能
事
物
疑

丸みを
丸みを
丸みを
ぶつからないように

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

人生において一度は
可能な限りあらゆる
事物を疑ってみる事だ

新井龍峰書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

誠実
間保
最高

最	人	誠
も	間	実
高	の	は
尚	保	
な	ち	
も	う	
の	る	

古田瑞苑書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

▼教範・書範＝行書
▼師範＝楷書

◆8月課題予告（行草または草書）
勝てると思えば
勝てるのだ 自信こそ
勝利の条件である

★人生に：（書体＝行書）
デカルト（一五九六～一六五〇）
フランスの哲学者・数学者
新しい学問、知識を築くためにデカルトは一切のものを疑ってかかります。しかし、疑っている自分の存在を疑うことができません。この「われ思う故にわれあり」という有名な言葉は、自然を探究し、真理を発見する働きを端的に表しています。

◆8月課題予告（行書）
芸術の魅力は
結局、魂の魅力だ
武者小路実篤

★誠実は：（書体＝楷書）
チヨースー
（一三四〇頃～一四〇〇）
イギリスの詩人
『誠実さ』とは、責任の別の表現だと考えられます。
自分の取り組んでいる仕事の結果に責任を取るというのは、失敗しないように、あらゆる努力を惜しまないのが責任ではないでしょうか。

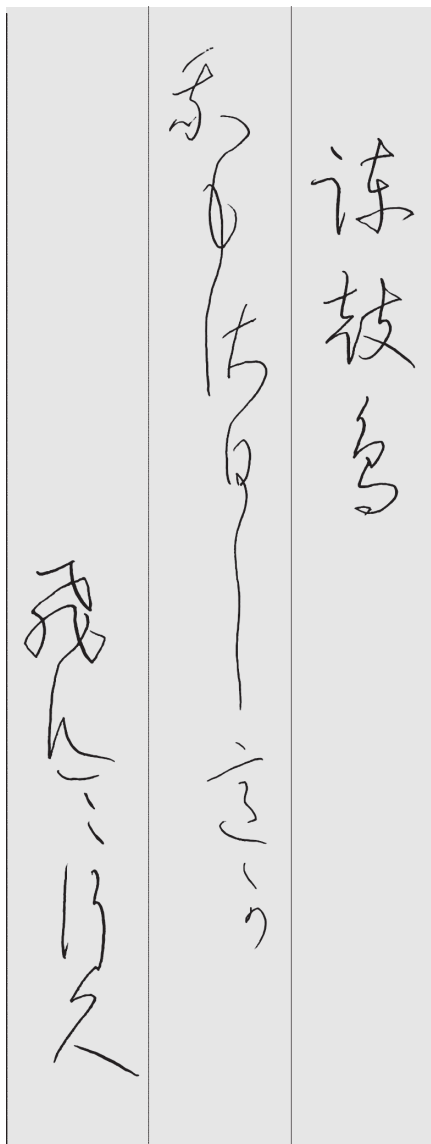
一般部かな課題

締切り 7月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

諫鼓鳥我もさびしいか飛んで行く
佐日意可(毛)天久



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

諫鼓鳥我もさびしいか飛んで行く
加无己毛以可(無)久



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

諫鼓鳥我もさびしいか飛んで行く
(中川乙由)

〔句解〕かんこ鳥が飛んでいく。その

声は人をさびしがらせるが、お前自身もさびしくて飛んでいくのか。

〔鑑賞〕「憂き我をさびしがらせよ閑古鳥」(松尾芭蕉)の句を踏まえてこの乙由の句が出来、乙由のこの句を踏

まえて、「閑古鳥寺見ゆ麦林寺とやいふ」(与謝蕪村)の句が出来た。

『俳諧百一集』は、この句を選んで、〈その心のさびしみよりおこりて聞く人もさびし、鳥もさびし、天性不思議神境と見えたり〉と評している。

〔古筆参考〕

毛も 以い 意い 可か 久く
も 毛も 以い 意い 可か 久く
も 毛も 以い 意い 可か 久く
も 毛も 以い 意い 可か 久く
も 毛も 以い 意い 可か 久く

〔解説〕二行目が級も段も画数が少ないので、二三行目は少し強く筆圧をかけて書いてみて下さい。

◆8月課題予告

紅さいた口も忘るる清水かな

(千代女)

締切り 7 月 24 日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイデアを生かして自由に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな暑中見舞い状をお待ちしています。

暑中お見舞い申し上げます
この太陽のもと、畑の野菜は元気です。茗荷が採れたので、柴漬けに挑戦。
はじめてにしては上手に出来ました。少しばかり届けます。ご笑味あれ。
令和三年盛夏
(ご自分の氏名)

暑中お見舞い申し上げます
この太陽のもと、畑の野菜は元気です。
茗荷が採れたので、柴漬けに挑戦。
はじめてにしては上手に出来ました。
少しばかり届けます。ご笑味あれ。
令和三年盛夏
涼子

※手本は水性ボールペン使用

- 作品の出し方
- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
 - 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
 - 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
 - 両課題とも、書体変換は自由です。

横書き課題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

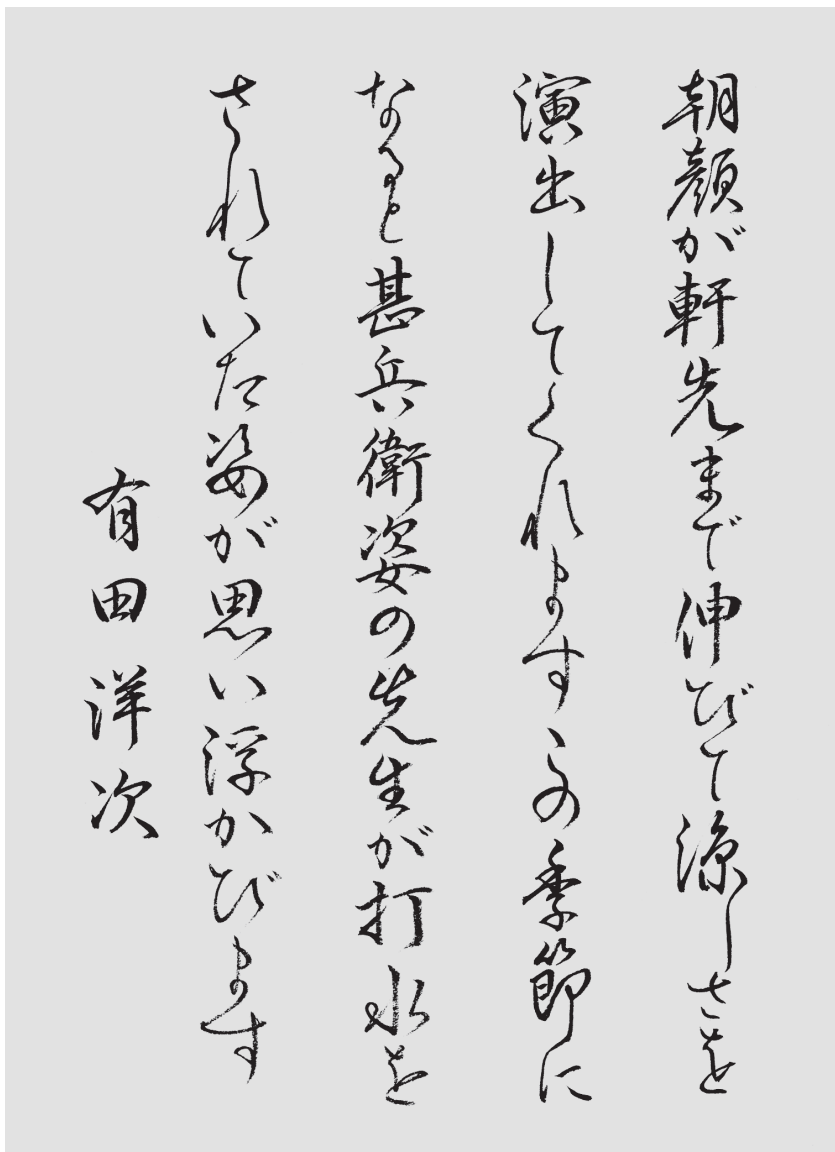
京都八坂神社の祇園祭りは、流行した疫病の退散神事が起源である。

神奈川県戸塚区 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

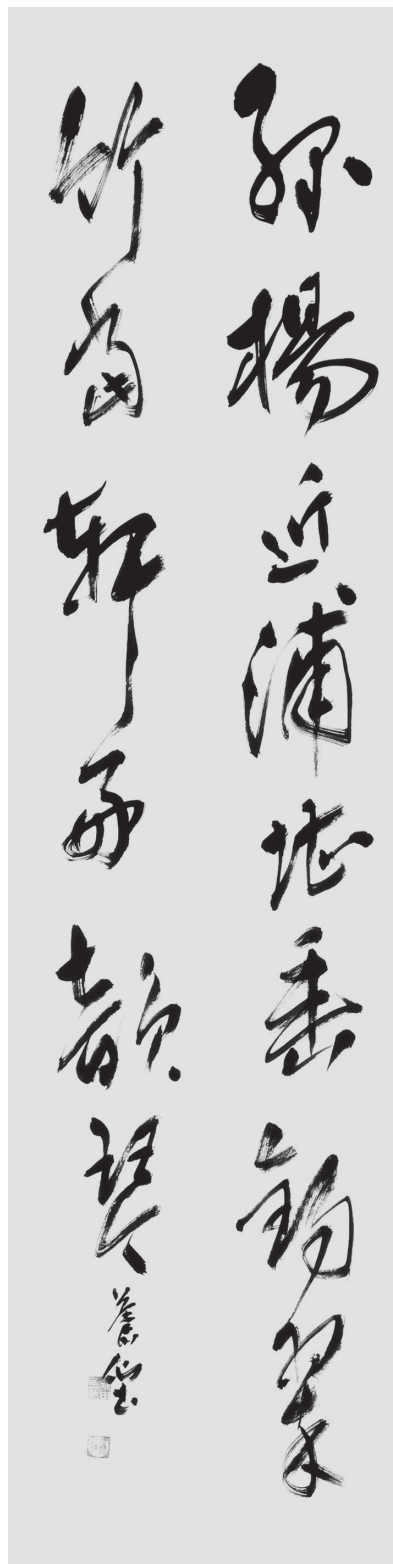
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

書 香 梅 藤 伊



緑楊近浦堪垂釣 翠竹當軒好韻琴

路半千

締切り 七月二十四日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

荻田蒼仙書

- 〔条幅・細字作品の出し方〕
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績 (天位〜5等) は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

・印で墨つぎしました。

(ご自分の氏名)

朝顔が軒先まで伸びて涼さを演出してくれそうです。この季節にならば甚兵衛姿の先生が打水をされていた姿が思い浮かびます。

〔条幅解説〕

筆をまっすぐに立てて紙を突いた時の弾力を運筆に活かす……止まった時その弾力を手に確認して次の運筆へ……弾力のきいた線の訓練を！

〔大意〕青々たる楊柳の入江に近く魚を釣るにいいが、青々たる竹が軒に接して琴をひくにもよいのである。

初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

新入から1級まで(楷書)

須田 一葉書

〔解説〕

禪
房
夏
木
深

禪
房
夏
木
深

禪房夏木深

※禪＝禅

〔大意〕寺には夏の木立が樹陰を深くしている。

◎上達のポイント：結構法

〔横画について〕

横画を全て同じ筆遣いで書く方を多く見受けまうので、違いを説明します。
・横画が並ぶ場合：最上部はそり気味に書きます。最下部は中央を少し高くし、伏せて収めます。

〔例〕三 王 正 至 青

・次のような文字は線の間隔を揃えて、方向を統一します。

〔例〕貝 直 曜 着 集

・全てを同じ長さにはせず、一画のみを長くするとよい文字があります。

〔例〕書 葉 美 量 等

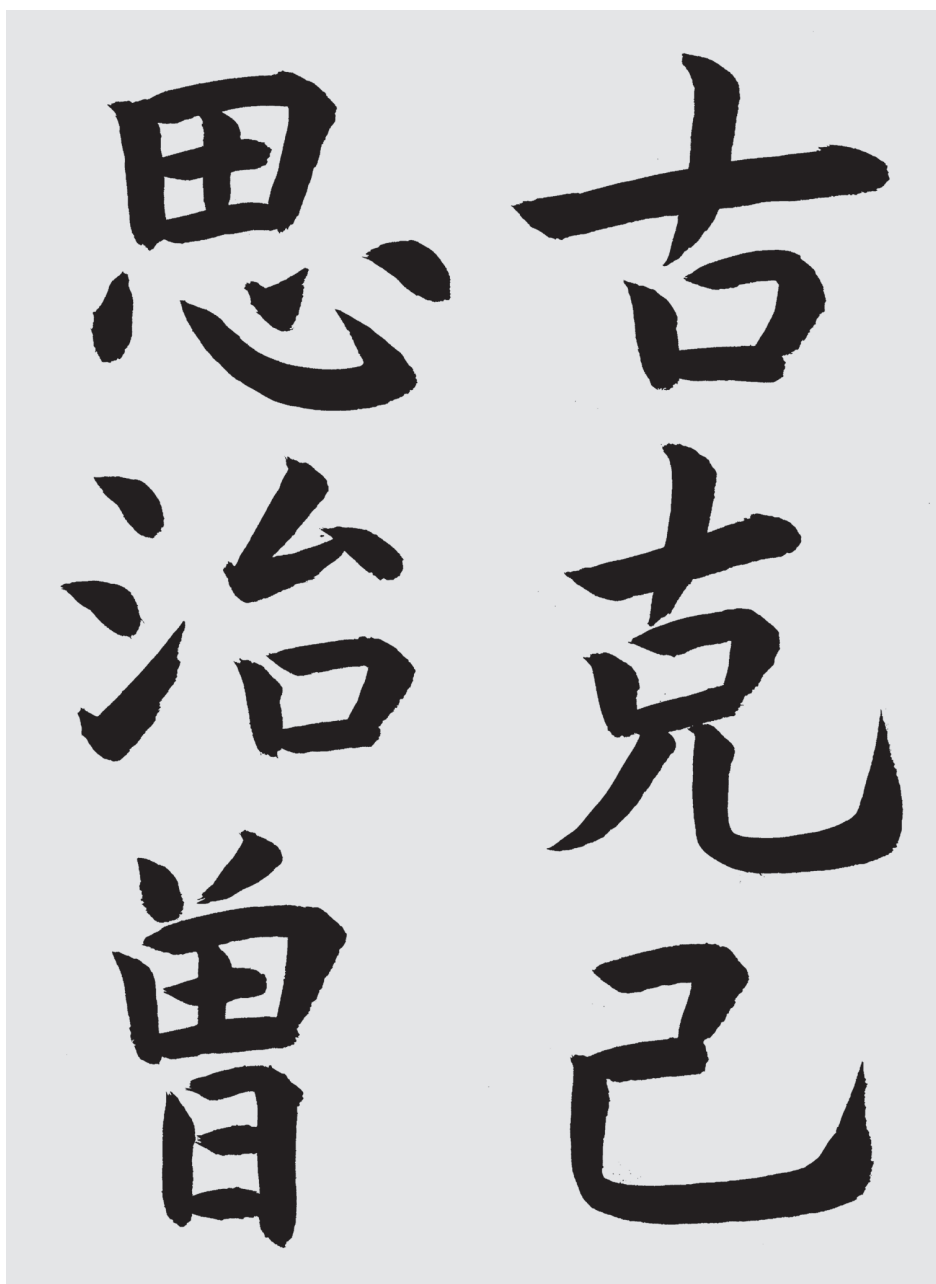
・画数の多い文字はペン字と違い、線の太さを考慮して筆先を軽く細めに書くとよいでしょう。

◆8月課題予告(行書)

納涼高
樹下

準初段から師範まで

奥村暢之臨



古

克

己

思

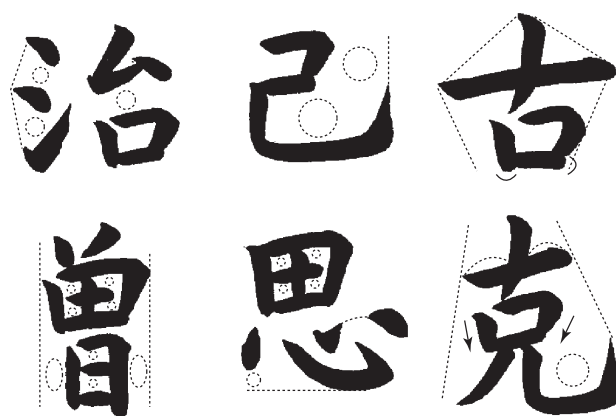
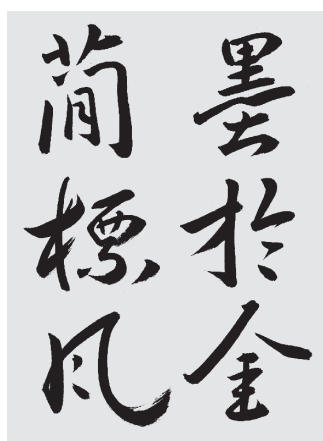
治

曾

〔解説〕

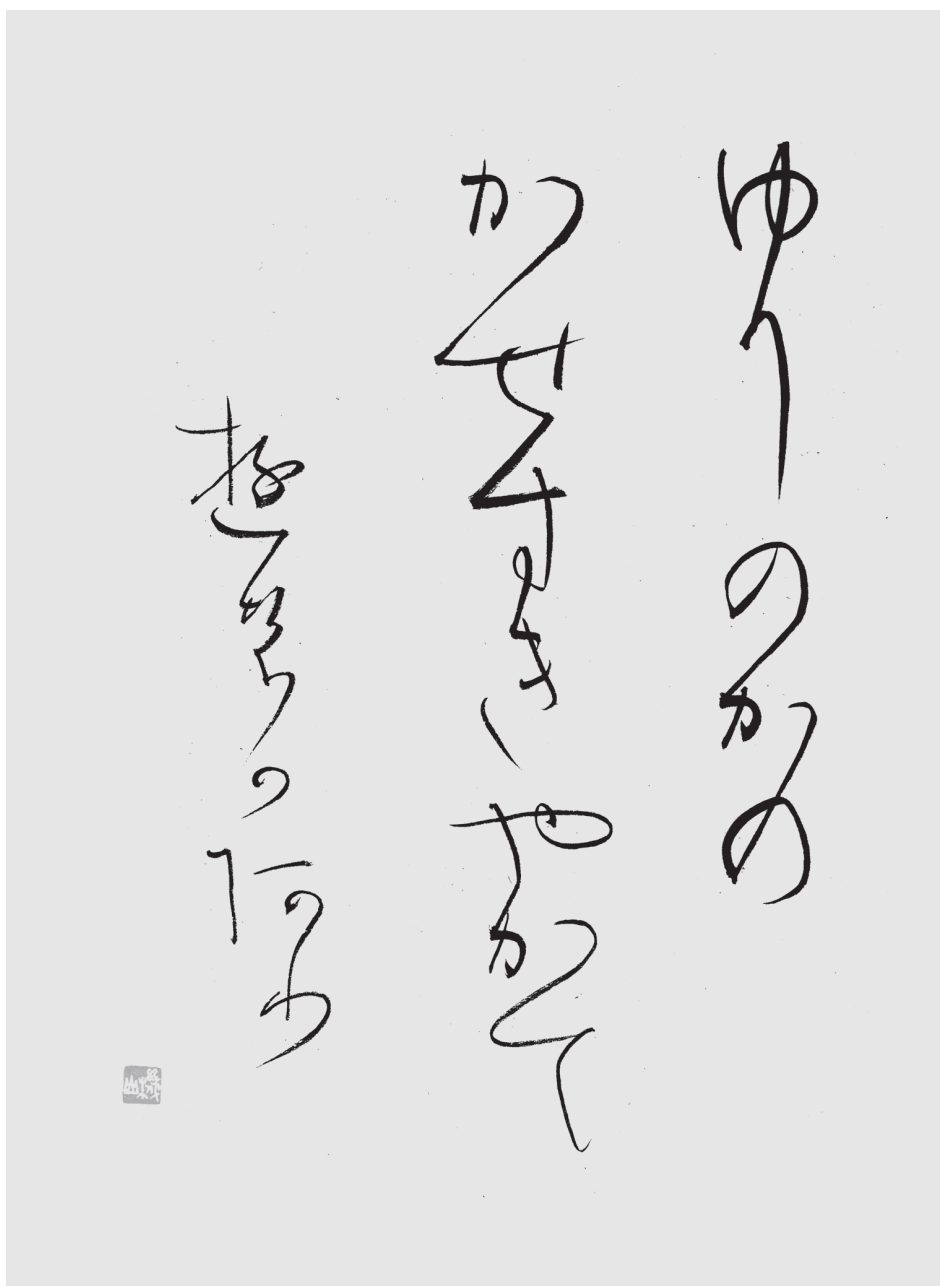
〔出典〕孔子廟堂碑（六二六、六三三）
 〔筆者〕虞世南（五五八、六三八）
 〔読み〕（遂）古を（旁求し）克己
 して思治するは、曾ち

◆8月課題予告



新入から1級まで

浅井 機山先生書



百合の香の風過ぎやがて湯の香あり

福田夢汀「夏の俳句」

〔句意〕

深山道、百合の強い匂いが風にのってきた。や
やしばらく歩くと、温泉の匂いがしてきた。目
的の宿の近いことを知らせる香に疲れた足も軽
くなった。

◆8月課題予告

鰯雲天にひろごりはぎ咲けり

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。

3行で並んだ字数は、5字、7字、
5字で書いて、最後の5字を変体仮名
で書いています。

それでは、1行1行見ていきましょう。

「ゆりのかの」

「ゆり」、たっぷり含蓄した筆で、第
1画をちょっと突いて(蔵鋒で)入りま
す。毛先が喰い込むように引いて、角で
止めたら、ゆっくりまわって〈遅速の変
化〉を付けながら次の角まで力強さを
持続します。そして、角でしっかり突い
て毛先にバネをかけ、力強く「り」の
第1画へつながります。1本の線で「ゆ」
の終画と「り」の始画を共有します。
「り」の第2画の〈曲線はゆっくり回っ
て〉垂直に近い縦線をさらりと書き流
します。

「かせすきやかて」

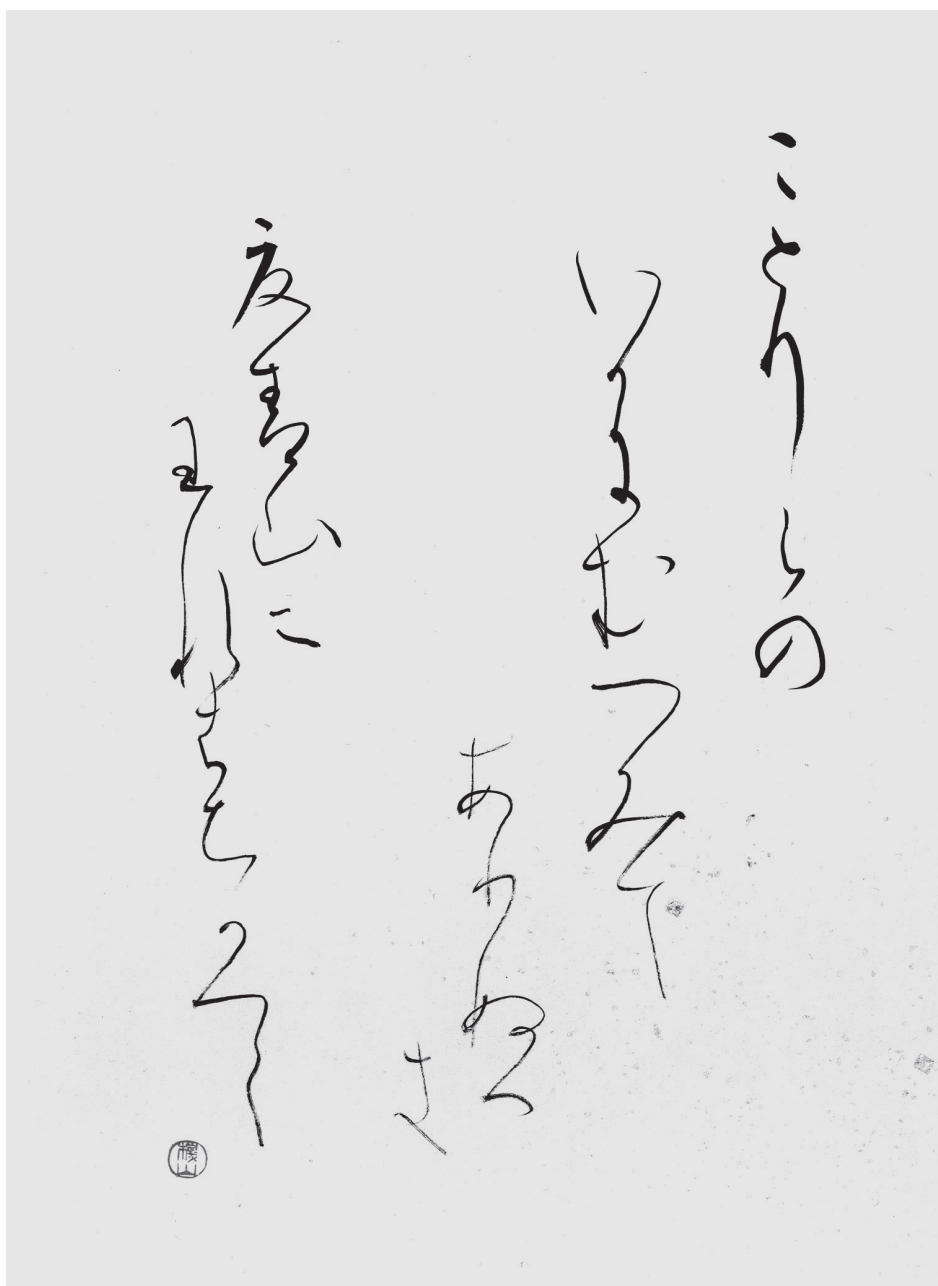
「せす」、「や」、「て」の長い横線は、
方向(角度)が少しずつ違いますから、
同じようにしないことが大切です。そ
れに、どちらかというと、「せ」は左
回り、「す」は直線、「や」は右回り、
「て」は左回りというところなどを捉え
ると、すっきりした線を書くことが出来
ます。

「遊ぶ可阿利」

墨が少なくなってきましたが、慌てずに
書くことが大切です。墨がたっぷりある
ところと同じように、ゆったりと遅速の
リズムを持ちながら、〈直線はハヤイ、
曲線はオソイ〉原則を守りながら書き
上げます。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



こ鳥らのいかに睦みてありぬべき

夏青山に我はちかづく

斎藤茂吉

〔歌意〕

小鳥たちはどんなに睦まじく啼きかい飛びかっているであろうか。夏の青々と茂った山に近づいていくことだ。

◆8月課題予告

秋風にはつ雁がねぞ聞ゆなる
誰が玉つさをかけて来つらむ

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。

料紙は緑色の〈具引き紙〉です。上部はうすく、下部は濃くなっています。濃くなった部分に花木の模様が描いていて、そこに切箔と砂子がまかれています。〈料紙とは仮名で清書する時に使う美しく装飾された紙〉。

さて、行頭を見ていくと、だんだん下がっていきます。第1行から「支」までの〈漸減〉の仕方は、よく出てきますからしっかり覚えておきましょう。そして、左の2行は寄り添って書いてあります。

さて、1行1行順に見ていきましょう。

「こ鳥らの」

「こ」小さく書き出した「こ」は上空から小太鼓を叩くような感じで力強く書き出します。「と」の第1画まで叩くように書いて曲線に移ります。「り」の第1画は鋭く、第2画の縦線は緩やかに、「ら」は細めに軽やかに、「の」は下の余白を意識しながら暢びやかに書いて第1行を書き終えます。

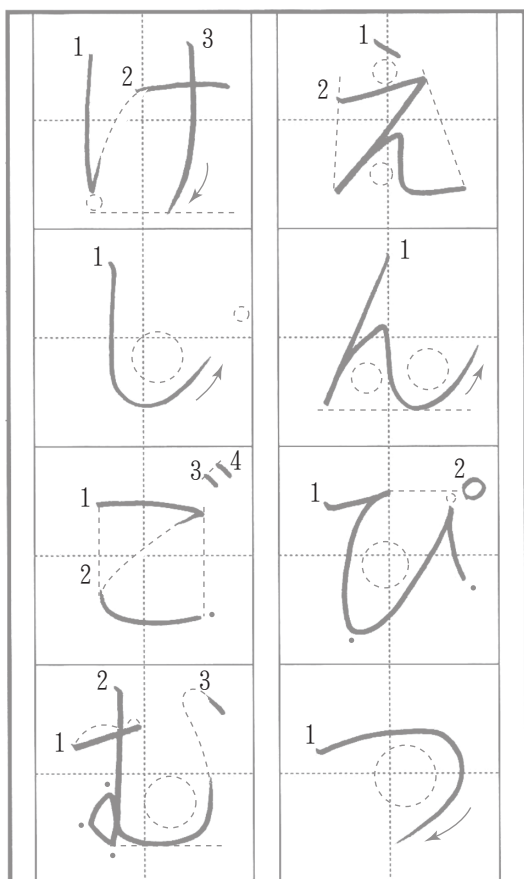
「い可尔むつみて」

「い」の頭は、右の「と」の頭と並ばないように書き出します。行尾の「て」は上からの流れのやや右へ移行させて大きな余白へ影響を与えます。

「あ利ぬへ支」

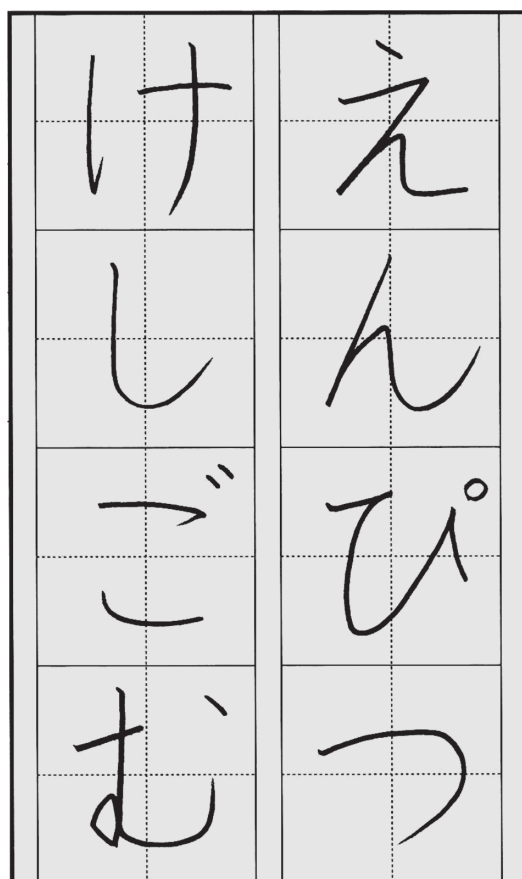
「支」を「へ」にちょっと寄せて〈行間を狭めて〉前半を書き終えます。この「支」の位置でこまめを安定させシメくることが出来ます。

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)



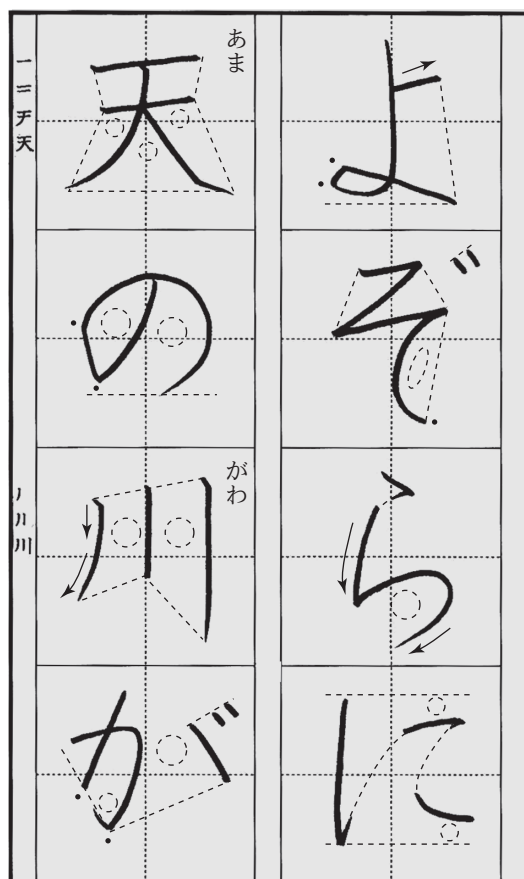
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年〜小三年まで 三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

す	ノクタ	夕	ゆう
ふ	・ユナ立	立	だち
ぬ		で	
れ	イー竹竹体	体	からだ

新入1級

※夕立＝単語としてこのように読みます。

が	夕	と
す	立	つ
ふ	で	ぜ
ぬ	体	ん
れ	中	の

小二年

準初段以上

作	サク	習	シユウ
な	・ハム字	字	ジ
ら		の	
ふ	フカ	力	リキ

新入1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

に	が	習
な	広	字
ら	い	の
ぶ	会	力
よ	場	作

小三年

準初段以上

〈用具〉自由(黒色に限る)

簡	時
單	間
魚	短
料	縮

解説(よく見て習いましょう)

理	簡	時
の	單	間
レ	な	短
シ	魚	縮
ピ	料	の

小六年

(全員)

臨	で	不
機	も	測
応	慌	の
変	て	状
に	ず	況

中二・三年 (行書)

し	情	広
分	報	い
析	を	視
す	収	野
る	集	で

中一年

(行書)

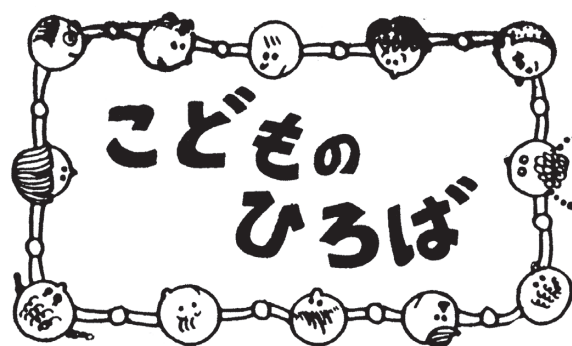
▼小三年以下の課題 後 藤 友 泉 書

始 ^{はじ}	ホ	タ ^{ゆう}	美 ^{うつく}	山 ^{やま}
め	タル	方 ^{がた}	し	里 ^{さと}
ます	が	にな	い	の
	光 ^{ひか}	る	小 ^お	
	り	と	川 ^{がわ}	
			は	

◎お手本はえんぴつ使用



- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



しめきり 7月24日（必着）

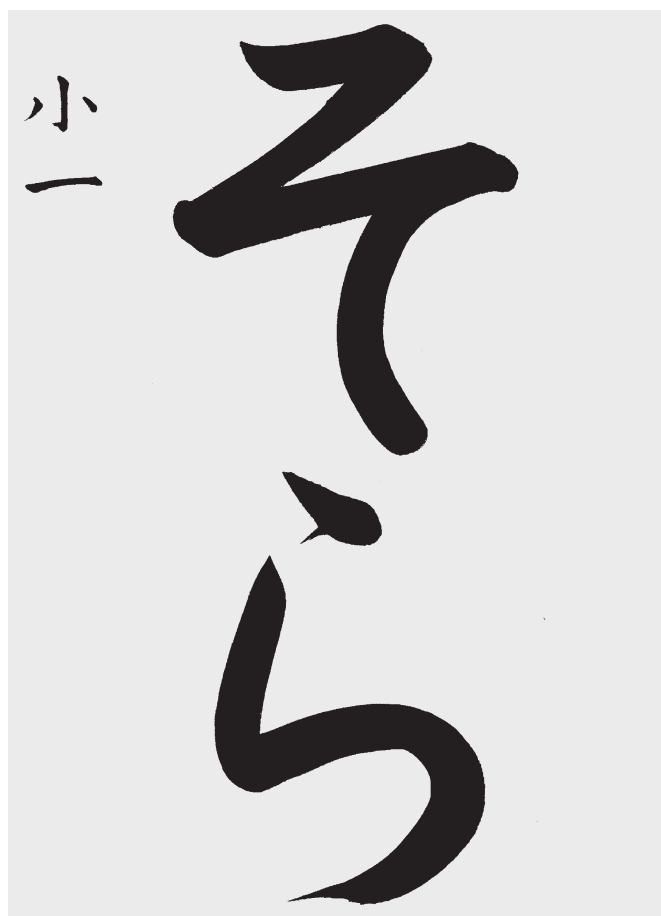
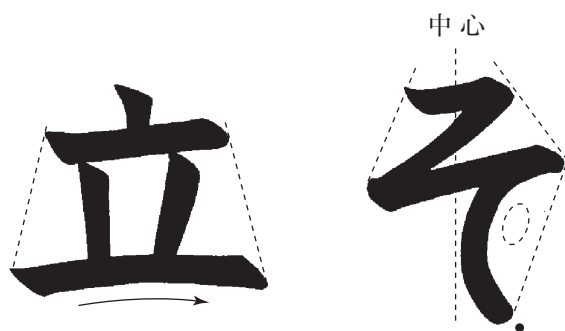
習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 江 本 由 泉 書

対 ^{たい}	熱 ^{ねつ}	早 ^{はや}	水 ^{すい}	真 ^ま
策 ^{さく}	中 ^{ちゅう}	め	分 ^{ぶん}	夏 ^{なつ}
を	症 ^{しょう}	に	補 ^ほ	日 ^び
し	の	行 ^{おこな}	給 ^{きゅう}	は
よう		い	を	

◎お手本はつけペン使用







小三〜小五年
水野碧友書

中二・三
忘臨
変機

理魚
料
小六

小六・中二・三年
玉樹小華書

野 魚
臨 理
機 視

※行書は線の連なりや気脈に注意して書こう。

中一
視 広
野 い

短期特別課題優秀作品

支那文名は 朱	任	天	わ
段・最位 三	務	与	が
氏名 熊谷友紀	な	の	職
	り		業
			は

支那文名は 青 つばき	任	天	わ
段・最位 準四	務	与	が
氏名 牧野祐子	な	の	職
	り		業
			は

支那文名は A	任	天	わ
段・最位 準五	務	与	が
氏名 古橋玲子	な	の	職
	り		業
			は

支那文名は 苑	任	天	わ
段・最位 書	務	与	が
氏名 村松清苑	な	の	職
	り		業
			は

支那文名は 紀	任	天	わ
段・最位 書	務	与	が
氏名 清水青泉	な	の	職
	り		業
			は

支那文名は 鳳	任	天	わ
段・最位 教	務	与	が
氏名 生嶋美奈	な	の	職
	り		業
			は

出品数＝硬筆部限定175点

奥村憲照先生揮毫

「ペン字の手ほどき」DVD発売!!

本会創始者・奥村憲照先生唯一の指導映像（8ミリ映画）をDVD化いたしました。これでどなたでもお気軽に、ご家庭のテレビやパソコンでご覧いただけるようになりました。

ペンの持ち方、姿勢、基本線などの比較的初心者向けの内容ですが、憲照先生のペン技法の真髄に、居ながらにして触れることができます。

ペン字を学ぶ人必見の貴重な映像です。

・価格 DVD一枚：一、八三〇円（税込み）

・収録時間 一六分三十三秒

（付）毛筆の基本

※昭和四十七年製作の自作の8ミリ映画をそのまま収録していますので多少の画像の乱れがあります。また音声による解説はありません。（BGMのみ）

本誌手本執筆交代のお知らせ

今月号より本誌の執筆陣が、次のとおり交代することになりました。

これまでにご執筆いただいた先生方には、長年にわたり誠に苦勞様でした。

七月号からの執筆の先生方にはよろしく願いいたします。

「一般部」

◎硬筆部規定級位 大谷清城先生↓古田瑞苑先生
◎硬筆部規定段位 奥村暢之先生↓新井龍峰先生

幼児・児童向け推薦図書

ひらがなのおけいこ帳

カタカナ・数字付

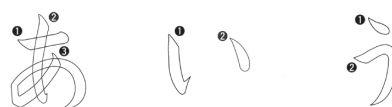
好評の奥村憲照先生のひらがなに、カタカナ・数字も加えて、新しいおけいこ帳が誕生しました。
ナント価格は据置きです！何事も始めが肝心。
幼児・児童におすすめの1冊です。

1冊 560円（税込み・〒実費）

3歳からの文字指導

ぬりもじ

ひらがなを覚え始めた幼児に最適の教材です。
ぬり絵と同様の遊び感覚で、楽しみながら自然にひらがなとその書き順が身につきます。



1冊 610円（税込み・〒実費）